からの思い！

命の水を届ける

市では、地震発生直後の停電による影響で、水の出が悪くなったり、出ない箇所が発生しましたが、3月16日午後9時に完全復旧したことにより、電気・ガス・水道といったライフラインは確保されました。しかし、県内の多くは未だ断水が続いている状態だったため、市は、県内でも被害の甚大な高萩市、北茨城市に救援物資の提供を行いました。

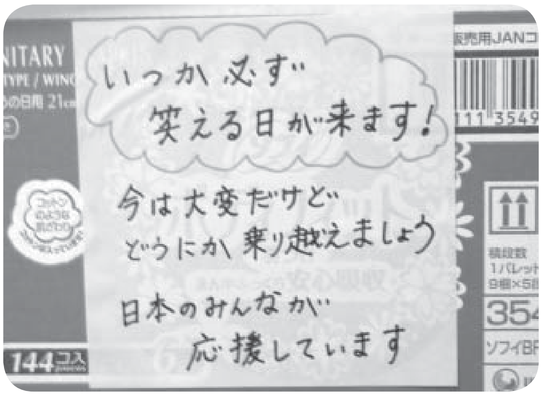
高萩市には、3月18日、飲料水108箱（ペットボトル2ℓ×6本、1296ℓ）を、市職員3人がトラック1台で、北茨城市には、3月22日、飲料水230箱（ペットボトル2ℓ×6本、2760ℓ）を市職員5人がトラック2台で現地に届けました。

▷救援物資を積み込む市職員

▷霞ヶ浦駐屯地に向け出発

救援物資を届ける

市対策本部には震災直後から、市内外の多くの皆様から飲料水や毛布などが届けられたほか、3月25日までは、被災地から要望のある生活救援物資の受付を行い、「被災地で苦しんでいる方々のために」との強い思いを持った市民および市内企業併せて180件にも上る方々から、貴重な物資をお預かりすることができました。



物資のひとつひとつには、被災された方への強いメッセージが記載されていました。提供いただいた物資は、ダンボール箱144箱（大人用紙おむつ48箱、子供用紙おむつ16箱、子供用おしりふき1箱、生理用品16箱、トイレットペーパー18箱、ボックスティッシュ8箱、ポケットティッシュ7箱、毛布13箱、バスタオル5箱、タオル8箱、カイロ4箱）にも上り、皆さんの強い思いとともに、3月30日に陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地へ搬送し、自衛隊から被災地へ届けられます。

皆さんの親身なご協力に心より感謝申し上げます。

▷多くの物資が集まりました